

# ちよふ市議会だより

調布市ホームページ <https://www.city.chofu.tokyo.jp>



市議会HP  
二次元コード

第4回定例会の会議経過							日付	内容
20日(火)	15日(木)	12日(月)	8日(木)	7日(水)	6日(火)	5日(月)	11月30日(水)	11月
○諸報告	○議案上程(議決) ○陳情上程(議決)	○議案上程(議決・委員会付託) ○陳情上程(委員会付託)	○一般質問(4人)	○一般質問(6人)	○一般質問(6人)	○一般質問(6人)	○市長報告 ○議案上程(委員会付託) ○陳情上程(委員会付託)	○本会議
	休憩中 委員会	本会議	議会運営委員会	常任委員会				

掲載内容：令和4年第4回定例会を中心に掲載



令和5年調布市二十歳のつどい(成人式)

## 調布市基本構想を 満場一致で可決

### 調布市議会の個人情報 保護に関する条例を制定

#### 第252号の主な内容

- 一般質問の要旨・・・2～7
- 第16回議会報告会を配信しています・・・3
- 第17回全国市議会議長会  
研究フォーラムに参加
- 長崎市平和都市交流事業・・・6
- 次期基本構想原案について  
全員協議会を開催
- 広域交通問題等対策特別委員会の  
審査状況
- 4年度常任委員会行政視察報告
- 市議会の議会運営について・・・7
- 案件に対する議員の態度
- 市長提出議案に対する討論
- 議場コンサートを開催しました
- 編集後記・・・8

発行 調布市議会  
東京都調布市小島町2-35-1  
議会事務局  
TEL 042-481-7291 FAX 042-481-5119  
gikai@city.chofu.lg.jp

#### よりよい市議会だよりを 目指して

皆様の声をお聞かせください

紙面のレイアウトや内容などに関する御意見がありましたら、議会事務局までお寄せください。紙面づくりの参考にさせていただきます。

令和4年第4回定例会を、11月30日から12月20日までの21日間の会期で開催しました。この定例会では、今後8年間のまちづくりを進めるための指針となる調布市基本構想、令和4年度一般会計補正予算(第5号)など議案16件が市長から提出されました。市議会では、これらの議案を詳細に審議し、それぞれ可決したほか、委員会提出議案「調布市議会の個人情報の保護に関する条例」、議員提出議案4件・陳情4件を審議しました。

また、調布市個人情報の保護に関する法律施行条例などでは、賛否が分かれ、各党派が討論(詳細8面)を行い、採決の結果、賛成多数で可決しました。

定例会最終日の12月20日には、調布市立小学校の児童が食物アレルギーに起因するアナフィラキシーショックでお亡くなりになるという痛ましい事故から10年を迎え、改めて児童の御冥福をお祈りするとともに、御遺族の方々に追悼の意を表し、黙禱をささげました。

### 調布市基本構想

調布市基本構想は、12月20日の本会議で審議しました。

市長は提案理由説明の中で、「令和5年度からの新たな基本構想は、これまで長年にわたり積み上げてきたまちづくりの成果や、市民のまちづくりへの思いを継承し、8年後の新たなまちの将来像を掲げ、その実現に向けた基本目標を示すもの。その将来像と基本目標を市民、議会、行政が共有し、お互いの役割を尊重しながら協働。今後、中期的な財政計画との整合を図りながら基本計画において、具体的な施策と主要事業の位置づけを行い、本基本構想の実

現に取り進む」と述べました。市議会では、これまで基本構想策定に向けた検討状況について報告を受けるため、全員協議会を8月10日と11月17日の2回開催し、その中で様々な質疑意見がありました。11月17日の全員協議会については、7面に掲載しています。

#### 調布市基本構想

##### まちづくりの基本理念

個の尊重  
共生の充実  
自治の発展

##### まちの将来像

ともに生き ともに創る  
彩りのまち調布

#### 委員会提出議案 「調布市議会の個人情報の 保護に関する条例」

個人情報の保護に関する法律(以下「新個人情報保護法」という。)が改正され、地方公共団体の議会が地方公共団体の機関から除外されました。議会は新個人情報保護法の適用対象外となったことから、新たに「調布市議会の個人情報の保護に関する条例」を議会運営委員会の提出議案として提案し、12月20日に賛成多数で可決しました。

制定に当たり、10月3日から11月1日までパブリック・コメント手続を実施しました。今後は、令和5年4月の施行に向けて準備を進めていきます。

条文の全文及びパブリック・コメント手続での御意見の概要と議会の考え方は、市HPをご覧ください。





# 一般質問の要旨



一般質問とは、議員が市長などに対し、行政全般にわたる事務の執行状況や将来の方針等を確認するものです。

第 4 回定例会では、22人の議員が一般質問を行いました。  
なお、※印の用語は 4・5 面に解説を掲載しています。スマートフォンなどの端末で、タイトル内の二次元コードを読み取ると、それぞれの録画映像がご覧いただけます。



## 自治体独自の地域ポイント事業・地域通貨事業について

大野 祐司 (自由民主党)

**問** 会派視察した大阪府泉佐野市の地域ポイント事業「さのぼ」は、市民以外も使え、市内加盟店で買い物したり、市主催のイベント参加でもポイントがたまる。健診等のための健康マイレージポイントを「さのぼ」に交換することもできる。1ポイントから使え無駄がない。このような自治体独自の地域ポイント事業について、市の考えは。  
**市長** 施策推進につなげる仕掛けや、消費喚起などポイント制度による様々な効果を期待し実施されていると認識。見込まれる効果やシステム開発の経費等の課題、プレミアム付商品券事業の課題、自治体独自の地域通



## 防犯カメラの運用施策とリニア中央新幹線開通後のまちづくり

佐藤 亮彦 (自由民主党)

**問** いくつかの商店街で、防犯カメラの維持・管理が困難になりつつある。設置者負担になっっているカメラの維持費や通信費の一部を市が補助し、管理業務を民間業者に委託することで負担を軽減することが可能。商店街の防犯カメラの現状認識と、今後の対応は。  
**市長** 市は公共空間への防犯カメラ設置を推進。都の補助制度を活用し、商店会等に対し設置・維持管理費用等を支援。引き続き防犯カメラの設置、運用と併せて、調布警察署と緊密な連携による複合的な取組を行う。  
**問** 駅前や商店街を含む市街地の持続可能な防犯施策は。  
**危管部長** 警察からの照会対応に際し、訪問時間の考慮を申し入れ、協議するとともに、都の補助制度や民間事業者の活用を提案するなど、設置団体の負担軽減につながるよう調整。  
**問** リニア中央新幹線の神奈川県駅(仮称)が9年に誕生すると、調布駅から名古屋駅まで1時間強で行くことが可能。調布駅の利便性は向上し、シェアオフィスやリモートワーク対応のオフィス需要が創出される。市は積極的にアクションを起こしていくことが肝腎。リニア中央新幹線開通について①次期基本



市設置の防犯カメラ

計画での位置づけは②職住近接のまちづくりをどう考えるか。  
**行経部長** ①リニア中央新幹線整備の動向や、開業後に見込まれる効果の想定など、5年度からの次期基本計画における影響の把握に努める②コロナ禍以降多様な働き方の広がり等、オフィス需要を取り巻く環境は大きく変容していると認識。現時点では、社会経済状況と併せた開業後のオフィス需要の動向注視



大阪府泉佐野市の地域ポイントカード「さのぼ」

貨事業は、自治体内でのみ使用可能なため、市税が市外に流出せず、市内事業者に還元されることから、効果的かつ効率的な取組と認識。一方、消費喚起策のポイント還元原資が実施の都度必要となるほか、利用促進に時間を要するなど、コスト面や運用面での課題もある。引き続き先行事例などを参考に、課題整理と効果検証を行い、多角的に検討する。



## 高齢者が安全・安心して過ごせる取組について

川畑 英樹 (チャレンジ調布21)

**問** 超高齢社会の到来を控え、次期基本計画で高齢化施策をどう策定するのか。基本的考えは。  
**市長** 人口構造の変化に伴い多方面の影響を懸念。地域包括ケアネットワーク強化等を引き続き高齢者施策の柱に位置づける。  
**問** 手助けが必要な高齢者を元気づけたい。現在の発生状況は。  
**危管部長** 4年の市内被害状況は10月末で67件、約1億700万円。  
**問** 特殊詐欺から市民を守る、AI・人工知能を利用した自動通話録音機の導入の検討を。  
**危管部長** 有効な手段の一つと認識。従来の自動通話録音機貸出しのほか、更なる対策を検討。  
**問** 認知症への理解のための、認知症サポーター養成講座の実施状況と、今後の取組は。  
**福祉参事** 平成18年度から開始。3年度末時点で405回実施し、延べ1万2千832人が受講。引き続き、サポーターの養成に努める。  
**問** 認知症の症状の中で徘徊は大きな危険。個人賠償保険を活用した救済制度の導入のほか、行方不明時に早期発見するため



## 3歳児健診に屈折検査機器を導入し弱視発見と早期治療を

澤井 慧 (日本維新の会)

**問** 3歳児健診の受診率向上に向けた市の取組について伺う。  
**福祉部長** 健診の前月初旬の個別通知や市報、市HP、全戸配布の健康ガイドで案内している。  
**問** 乳幼児健診を受けていない家庭に対するフォローアップ体制について伺う。  
**福祉部長** 3歳6か月での再通知。未受診者へは状況確認し、健診の機会提供などを実施。  
**問** 3歳児健診は弱視の早期発見・治療に向けた極めて重要な健診である。市の現状の視力検査体制について伺う。  
**福祉部長** 自宅での絵視標検査、集団健診での専門職の確認や視能訓練士による再検査、眼科での精密検査など3段階にて実施。  
**問** 3歳児健診の視力検査の精度向上のため他覚的な屈折検査機器の導入を提案する。見解は。  
**福祉部長** 検査の有効性が高く、なるため、導入に向け検討中。  
**問** 本市における緊急時対応について①国民保護に関する基本的な考え方は②どのような危機管理体制がなされているのか③本市にアラートが発報された際の有事における対応は④緊急時における市の避難施設の指定状況とその周知方法は。  
**市長** ①迅速な対応が可能となるよう、関係機関との連携強化



他覚的屈折検査機器

と市民への意識啓発に努める。  
**危管部長** ②市の災害対策本部体制を速やかに整え対応③遠隔での情報収集・共有体制を整備即応性ある庁内連携で対応④駅や学校等50か所が指定。リーフレットを作成し、市HPに掲載。  
**問** 緊急時対応に向けた市民の意識啓発や国民保護訓練などの取組が必要ではないか。見解は。  
**危管部長** 出前講座や地域防災訓練などと併せて周知、啓発。



認知症サポーターカード

の、GPS内蔵シューズやQRコードを活用した保護情報共有システム等の導入費用へ助成を。  
**福祉参事** 不安を抱える家族介護者支援の視点からも有効な方法と認識。他自治体の取組や最新機器の開発状況を調査研究。  
**問** 認知症のリスク要因「難聴」の軽度・中程度の聴力低下者へ、補聴器購入費助成制度の創設を。  
**福祉参事** 調布市医師会等と調整し、福祉施策全体の中で検討





平野 充(公明党)

### 難聴者への補聴器購入補助を

### 学習支援「ここあ」の拡充を



**問** 年齢や障害者手帳の所持に関係なく中等度難聴者への補聴器購入補助に対する仕組みや制度設計を求めます。市の考えは。

**福祉参事** 調布市医師会等の関係機関との調整を行うとともに、福祉施策全体の中で検討。

**問** 多くの人が聴覚の障害への意識を高めることが大事であり、デフリンピック東京開催決定は大きな意味を持つ。聾者や手話に携わる人の意見も含め、有効ですばらしい手話言語条例の制定を願うが市の考えは。

**福祉参事** 調布市聴覚障害者協会から、条例制定への機運醸成を図るよう要望を受けており、

題。保育コンシェルジュ的な案内支援のほか、長期休業期間の昼食について、出勤前の保護者の負担軽減策を伺う。

**問** 子育て・若者総合支援事業「ここあ」の学習支援は需要が高い。調布駅周辺以外に東部地域にも分室が必要。NPOや社会福祉法人も含め市と連携する事業者なら可能と考える。ビル

**問** 共働きの増加等により、時間を割くことが難しく、負担に

**問** ドッグランの設置は多摩川河川敷が適地であり、国との協議が必要との答弁があったがどのように協議・検討しているか。

**環境部長** 必要性や維持・運営の担い手も含めた実現可能性を慎重に検討する必要がある。

**問** 市立第三中学校の校庭を芝、人工芝へ変更する考えは。

**環境部長** 複数の公園にそれぞれ役割や機能を持たせて配置し、エリア全体の中で誰もが使いやす



厚生労働大臣をはじめ、全国から視察が相次ぐ先進事業「ここあ」



阿部 草太(次世代・調布)

### PTA業務委託・グラウンドと

### 公園整備・京王多摩川駅周辺の将来像



**問** 共働きの増加等により、時間を割くことが難しく、負担に

**問** 市は必要と捉えているか②民間委託費に予算をつける考えは。

**教育部長** ①学校運営を側面から支え、問題解決に尽力したい

**問** エリアで誰でも使える公園を選べるようにすることが、誰でも使いやすい公園の整備だと

**環境部長** 複数の公園にそれぞれ役割や機能を持たせて配置し、

計画的な改修に取り組み。

**問** 地区計画上の他のエリアも含めた京王多摩川駅周辺の将来像について①駅前複合拠点の開発により、どのような将来になるのか②総合福祉センター移転は地域住民に何をもたらすのか。

**市長** ①地域共生社会のモデルとして、総合的福祉機能など地域全体の生活機能向上を図る②地域共生社会の充実に向け、多様な主体の交流機会を創出する。



京王多摩川駅近くの多摩川河川敷

### 北部地域のまちづくりと

### 空き家・空き地の適正管理について



内藤美貴子(公明党)

**問** 北部地域のまちづくりについて①北部地域巡回ワゴンバスの運行時間や運行ルート等への要望に応えるためには何が課題なのか②期待の声が上がる、デ

**問** 空き家・空き地の適正管理について①所有者に放置されたままの空き地について、条例による今後の対策は②樹木の剪定

**市長** ①関係機関との調整のほか、実証実験の利用実績を踏まえ、受益者負担の視点を含めた

**外交部長** ②既存公共交通機関への影響に配慮しつつ、デマンド交通への移行も選択肢に加え、持続可能な公共交通導入に向け



調布市北部地域巡回ワゴンバス実証実験車両

**環境部長** ①空き地管理の適正化に関する条例に基づき立入調査、勧告等の措置など対応検討。

**都整部長** ②関係団体と連携し市内造園事業者一覧等の作成と

**問** 校庭の砂・土ほこり対策として高い防砂ネット設置を。

**教育部長** 状況に応じ散水や更なる防砂ネット設置等を検討。

### 第16回議会報告会を配信しています

「市民に分かりやすく開かれた議会」を目指す取組の一つとして、平成25年度から議会報告会を開催しています。16回目となる今回も前回と同様、新型コロナウイルス感染症拡大の状況に鑑み、オンライン配信としました。

#### 【主な内容】

- 実行委員長挨拶 (大野委員長)
- 議長報告 (小林議長)
- 9月議会の概要報告
- 3年度一般会計決算概要報告
- 3年度一般会計決算概要報告
- 各常任委員会報告
- 各委員会から9月議会における4年度補正予算及び3年度決算審査の結果を報告しました。
- 総務委員会 (狩野委員長)
  - ・ 物価高騰に伴う市民支援
  - ・ ワクチン接種事業費の増額
- デジタル行政の推進 など
- 文教委員会 (鈴木委員長)
  - ・ プレミアム付商品券事業
  - ・ 通学路の防犯カメラや危険なブロック塀 など
- 厚生委員会 (内藤委員長)
  - ・ 児童虐待防止対策
  - ・ 総合福祉センター移転
- 建設委員会 (川畑委員長)
  - ・ 地球温暖化対策
  - ・ 各地域の整備事業
  - ・ 道路陥没・空洞調査 など
- \* \* \*
- 録画映像
- 市HP↓市議会↓議会議中継
- 資料やアンケート結果等
- 市HP↓市議会↓議会報告会・議場コンサート

● 「年」及び「年度」については「令和」を表記していません。



### 市の生涯学習振興・市民が利用しやすい

#### 行政窓口運営について



西谷 徹 (チャレンジ調布21)

市には「国際・全国スポーツ大会出場報奨金交付事業」として、市内在住、在学、在勤の個人または市内に所在するスポーツクラブチームが国際大会や全国大会に出場する際、報奨金を交付する制度がある。それに対し文化的活動に対する同取組はない。支援の現状は。
**生文部長** 調布市文化・コミュニケーション振興財団と連携を図り、子どもや若者が文化芸術に触れる機会を創出や協定大学と連携した講座を実施。今後も「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」に基づき、多様な主体と連携し、市民の文



化芸術活動の支援に取り組む。市内には自作ロボットで、他チームと協力して競技を行うレッドバイソンズというチームがあり、2022年世界大会に日本代表として出場。こうした活動にもっと目を向けるべき。見解は。
**市長** 世界レベルでの活躍は喜ばしく、次代を担う子どもたちによる科学技術の一層の進展に期待。文化関係者や団体等とも連携し多面的な取組を推進する。
**問** 市民が利用しやすい行政窓口運営として、他市では1か所の窓口で手続を完結させるワンストップサービスが導入されている。窓口では待ち時間が短く



調布を拠点に活動するレッドバイソンズ 2022年世界大会

### 新たな歳入確保の施策と緊急一時避難施設の拡充について



鈴木 宗貴 (自由民主党)

河内長野市では、平成28年からのマイナズ金利政策により利子収入が得られなくなったことから、運用方法の見直しを検討。新たな歳入確保策として、基金の一括運用の下、平成30年10月から国債等の購入による債券運用を開始。減債基金の新たな活用を条例に定め、運用収益を重点プロジェクト等の財源に活用する取組を実施。3年度は債券運用で約4千万円の運用益を上げている。本市の基金運用の現状と認識と、基金の一括での債券運用について考えを問う。
**会計管理者** 地方自治法に基金は確実かつ効率的に運用しなければならぬことと規定。市資金からのマイナズ金利政策により利子収入が得られなくなったことから、運用方法の見直しを検討。新たな歳入確保策として、基金の一括運用の下、平成30年10月から国債等の購入による債券運用を開始。減債基金の新たな活用を条例に定め、運用収益を重点プロジェクト等の財源に活用する取組を実施。3年度は債券運用で約4千万円の運用益を上げている。本市の基金運用の現状と認識と、基金の一括での債券運用について考えを問う。



定の拡充は③緊急一時避難施設の市民への周知について問う。
**市長** ①市内では50か所が緊急一時避難施設等に指定。施設は都が地域の実情を踏まえ指定。情報提供など都と連携している。
**危管部長** ②地下施設を保有する施設等、引き続き避難施設の拡充に向け都と協議、調整を図る③出前講座や地域の防災訓練などで、適切な避難行動と避難施設の周知啓発に取り組む。



東京都緊急一時避難施設として指定されている調布駅

### 用語の解説

「一般質問の要旨」の※印の用語解説です

認知症サポーター養成講座
認知症の人やその家族の方が、安心して暮らし続けることができれば地域づくりを推進するため市内在住・在勤・在学者対象の認知症に関する正しい知識を習得するための講座。市の高齢者支援室の職員などが講師を務める。
**デフリンピック**
国際的な聴覚障害者のためのオリンピック。デフ(Deaf)は英語で「耳が聞こえない」という意味。4年に1度夏季大会と冬季大会が開催される。ルーはオリンピックとほぼ同じだが耳の聞こえない人のための様々な工夫がされている。初開催は1924年のフランスの夏の大会

### 香害から市民の健康を守り、子どもの権利を広げるために



木下 安子 (生活者ネットワーク)

香害は、人工的な香りに含まれる化学物質を吸い込むことで、めまいや吐き気、頭痛などが引き起こされ、化学物質過敏症の原因にもなる。これまでの市内の実態把握状況と取組は。
**福祉部長** 香害は社会的な注目が高まっているものと認識。注意喚起を行ってきた。教育委員会では、化学物質に配慮が必要な場合、本人専用の給食衣貸与等の対応や保護者の意見を伺い現状把握等に取り組んでいる。
**問** 5省庁の啓発ポスター活用で更に幅広い周知を。苦しむ市民がいる実態や、原因となる香り製品の種類が分かりやすい市



独自の取組で周知啓発を。
**福祉部長** ポスターは市施設に掲示し、現在は市HPで情報提供。既存の媒体・資料の活用や、独自の取組を行う自治体の事例は国等の動向と併せて研究。
**問** 人工的な香りが健康に及ぼす影響について、マナーの一環として庁内周知を求める。
**総務部長** 企業等の事例や専門的知見も参考に職員接遇マニュアルでの香りに関する記載検討。
**問** 市の子どもの権利条約が踏まえる子どもの権利条約の趣旨と、市の子どもの権利に対する認識は。
**市長** 市条例の前文と本文の内容は、子どもの権利条約が掲げ



日本消費者連盟の香害啓発ポスター 原因となる製品が分かりやすい

### 子どもたちが思い描く20年後のまちづくりを目指すために



井上 耕志 (チャレンジ調布21)

20年を超え、6期目の任期を務めることとなった市長は、次期都市計画マスタープラン策定に当たり、どのようなまちの姿を目指そうとしているのか。
**市長** 中心市街地の整備で積み上げた成果を市全域に波及させ、現行プランの理念を継承しつつ、ソフト、ハード一体の夢のあるまちづくりに取り組む。
**問** 次期都市計画マスタープランについて①計画期間を5年度当初からと位置づけ策定に向けた取組がされている。これからまちづくりに向けた課題認識は②市民意見をどのように計画に反映しようとしているのか。
**都整部長** ①災害や環境への配慮のほか、官民連携等の視点から取組内容を更新。都市空間の質を高め、実効性高い計画策定②ワークショップやアンケート調査による意見は、今後、まちづくりの目標や分野別の基本方針、地域別の整備方針等に反映。
**問** グリーンホールの更新に向けては、これまで調査費用等が予算化され、時間と予算をかけた取組が進められている。この間の取組内容と課題への認識は。
**行経部長** これまでの検討を踏まえ、建物全体のコンセプトや駅周辺イメージを作成。組織横断的連携の下、整備の基本構想



更新に向けて取組を進めているグリーンホール

策定や公民連携事業者の募集時期について総合的な調整を図る。
**問** 調布駅前広場は7年度までに完成と、様々な場面で答弁されている。駅前広場整備計画はグリーンホール外階段が撤去される内容だが、庁内でのような考えを共有しているのか。
**行経部長** 7年度の駅前広場完成を目的に、屋外階段の撤去が及ぼす影響も慎重に勘案しながら整備を進めていく予定。
**減債基金**
将来にわたって市財政の健全な運営を行うため、市債の計画的な償還に必要な財源を確保する目的で設けられている基金。
**都市計画マスタープラン**
将来都市像「住み続けたい緑につつまれるまち 調布」の形成に向け、都市づくりの方向性を定めた都市計画の基本的な方針平成10年6月策定、平成26年9月改定、計画年次は4年度末まで。現在5年度からの計画を策定中。



地域交通について



狩野 明彦 (自由民主党)

問 アフターコロナを見据えた地域公共交通の在り方について、行政に要望して行政だけが行う時代は終わり、産官学民の共創の時代に。地域公共交通の共創に向けて①「調布市総合交通計画」の改定、「地域公共交通活性化計画」の現状と進捗状況について見解は②各地でグリーンスローモビリティの実証実験が行われ、実際に運行している自治体もある中、市民生活や環境面からのグリーンスローモビリティの有効活用、導入についての見解、検討状況は。市長 ①新たな市民ニーズに対応するため総合交通計画の改定



況は②生活、観光、福祉等個別の分野で市民の利便性が図れ環境問題の解決に寄与するMaaSの活用や、現状の検討状況は。外交部長 ①各地の実証事業の結果や国の課題整理の状況等を注視し、公共交通の利用環境改善の取組を促進するとともに、事業者間の連携支援に努める②公共交通事業者との情報交換や各地の取組について情報収集し、市の実情を踏まえ検討する。



杉並区荻窪 20km未満で走るグリーンスローモビリティの実証実験

避難行動支援・避難所対策・防災の意識啓発について



須山 妙子 (公明党)

問 車での避難時、利用できる駐車場の混雑状況等がスマホなどで確認できる取組を。危管部長 市で案内する要配慮者駐車場については、避難所の開設状況とともに、専用のHPやメール等で情報発信を行う。問 避難行動判定フロー等、大切な防災情報はいざというときの活用のため手元に保管できる形で定期的に配布していくべき。危管部長 市報等での記載内容を工夫するとともに、市民が利活用しやすい媒体での配布検討。問 災害時、避難行動要支援者への支援を実効性のあるものにする個別避難計画の策定は、市



調布市多摩川自然情報館

通信環境として有用と認識。フリーズフリーの観点を踏まえ、今後の教育活動における通信環境の変化への対応を併せて検討。問 調布市多摩川自然情報館は多摩川による水害への意識啓発の役割を担う。同館を利用した水害を学ぶ取組を行うべき。環境部長 市のゼロカーボンシティの取組を情報発信するとともに、多摩川による水害についての環境学習の企画を検討。

学校部活動の地域移行は



橘 正俊 (公明党)

全庁が一丸となって取組を!



問 部活動指導員について①導入に至った経緯と今後の方向性は②人選の方法と任用基準は③導入後の生徒や保護者からの評価は④働き方改革の効果は。教育長 ①部活動支援や顧問教員の負担軽減を目的に導入。今後も更なる支援の充実を図る。教育部長 ②学校の意向を踏まえ専門的知識等のある方を書類面接審査を経て採用③専門的な技術指導で部活動が充実④休日指導を任せられる等の効果を認識。問 国は学校部活動等に関するガイドラインを発表。部活動の地域移行について見解は。教育部長 生徒は活動の選択肢



部活動の地域移行 地域のクラブが子どもたちに陸上を教えています

学校教育活動の課題と認識④地域との連携を視野に調査研究。問 通学路の歩道橋の凍結対策について①地域学校協働本部に対し、学校からどのような協力依頼をしているのか②歩道橋の凍結から子どもたちの安全を守るために、市教育委員会は学校とどのような話をしてきたのか。教育部長 ①本部活用含む安全指導の検討を促す②凍結時対策を講じ通学路の安全確保を要請。

国際平和を身近に考える機会の更なる提供を



清水 仁恵 (チャレンジ調布21)

更なる提供を



問 2010年に市が加入した平和首長会議は、2022年10月「ヒロシマアピール」を採択。「平和文化」を市民社会に根づかせることが求められている。市長の考えは。市長 平和の尊さを次世代へ伝え続けるため、子どもたちが戦争や平和について考え、学び、その成果を広く市民へ還元する取組が重要。中学生の被爆地への平和派遣事業を今後も継続。問 2022年4月に市が加入した日本非核宣言自治体協議会では平和への願いを若い世代に伝える事例参考に市で独自事業展開を。生文部長 協議会の事業等を参

©水木プロ



「水木しげるの生誕100周年記念・調布市平和祈念展」チラシ

考に、平和を身近に考える機会を創出できる工夫した取組検討。問 戦中・戦後の記憶に触れることのできる水木しげる氏作品の常設や、しよけい館などの公的施設と連携した取組を。生文部長 水木氏の作品は、世代を超え多くの方が戦争、平和に関心を持つきっかけとして大変有意義。資料館等との連携など、効果的な事業展開を検討。問 共生社会を目指す市の多文化共生推進の今後の展開は。生文部長 外国人支援等について国際交流協会等と連携を強化。問 国際理解や国際交流については①国際交流平和基金の活用は

グリーンスローモビリティ 時速20km未満で公道を走行できる電動車を活用した小さな移動サービスで、その車両も含めた総称。導入により、地域が抱える様々な交通課題の解決や低炭素型交通の確立が期待できる。MaaS(マース) 地域住民や旅行者の移動ニーズに対応して、複数の公共交通などの移動サービスを最適に組み合わせる検索・予約・決済などを一括で行うサービス。観光や医療などの交通以外のサービスなどの連携により、移動の利便性向上や地域の課題解決にも資する重要な手段となるもの。ヒロシマアピール 「持続可能な世界に向けた平和的な変革のためのビジョン」に掲げる目標の下、2050年までの行動計画に基づき平和構築を推進するため、一層連携を強め、行動することを誓ったもの。しよけい館(戦傷病者史料館) 戦傷病者及びその家族などが戦中・戦後に体験した労苦についての資料・情報等を収集、保存展示し、後世代の人々に伝えていくための国立施設。バイオガスプラント 学校給食の調理残菜等からメタンガスを生成し、液体肥料や再生可能エネルギーを生産する設備。(株)バイオストックが開発しN-TT中央研修センタに設置。おもてなしガーデン ラクビーW杯2019、東京2020大会のおもてなしの一環として、土作りや育て方を基礎から学んだサポーター等による花壇の植付けや花のコンテナ等での花装飾のこと。飛田給駅、西調布駅、調布駅周辺にて実施している。S&A(スクールランドアグリカルチャー) 学校給食の食材に地場産野菜を提供するため、市内登録農家と栄養士等で構成される組織。

●「年」及び「年度」については「令和」を表記していません。



### 産学官連携の取組と

#### 今後について問う



榎原登志子 (立憲フォーラム)

**問** 先端技術を活用したトマトの栽培やハイオガスプラントを活用した企業の取組と連携した学校における食育の取組に関して①学校と企業とは、どのような連携を図ったのか。また、具体的な内容は②先端技術を体験した子どもたちが実際に感じたことや反応は。

**教育部長** ①NTT東日本・NTTアグリテックロジックと連携し、食育の取組を実施。デジタル技術活用で栽培したトマトを給食で提供。栽培の様子を視聴し、企業の最先端技術を学ぶ等、デジタル化に対応した食育を推進②食育への興味やメタン菌の

**市長** 企業や大学等が有する知見やノウハウを生かすことで市民福祉の更なる向上につながる観点から、産学官連携の取組を推進。取組成果が市民に還元され、持続可能な活動となるよう多様な主体との連携を進める。

**問** 学校と連携した事業の事例などを参考に、企業等と連携した取組は、今後において、更に



### 調布駅前開発事業について



宮本 和実 (チャレンジ調布21)



**問** 調布駅前のロータリー・広場について、いよいよ整備が始まったが、今からでも変更できる部分はあるのか。

**市長** 市民参加の実践重ね、3年3月に調布駅前広場整備計画図を決定・公表。現在施工段階。おもてなしガーデンは五輪・パラリンピックのおもてなし事業の一環としての暫定取組ではあるが、引き続き市民サポートが参加できる仕組みを構築し、花いっぱいスペースを検討して欲しい。見解は。

**都整部長** 道路占用物件である調布駅広場口南側のおもてなしガーデンは撤去を予定。今後の

**設置については担当部署と協議。グリーンホールについては、すばらしい複合型施設を作るには今以上に幅広いサウンドデザイン調査が必要。見解は。**

**行経部長** コロナ禍で事業者の反応に変化。音楽や映画等をテーマにデジタルなどの社会潮流踏まえ建物全体のコンセプト案や施設構成の検討を進めている。

**問** 6年度にグリーンホール外階段が外されるが今後の予定は。

**行経部長** 全ての民間事業床を一括で活用することについては、企業から慎重な意向が示されている。事業者の民間機能の導入に関する意向を踏まえつつ多角

推進が必要と思われる。そのためにも、現在策定中の次期基本計画における産学官連携の推進に向けた取組の位置づけや考え方を問う。

**行経部長** 企業等と連携した取組を様々な分野で展開。基本計画の施策の効果的、効率的な推進に寄与。課題解決への検討を行った市総合計画策定産学官連携会議からの具体的な提案も参考に、産学官連携の取組を推進。



最先端技術を活用した取組との連携による学校給食 (トマト)

### 住民合意なき地盤補修工事はやめよ、

#### 学童クラブの増設を



岸本 直子 (日本共産党)

**問** 外環道工事の地盤改良のための工事に対する住民への対応について①陥没事故から2年以上経過。地盤補修工事は住民のためであり、住民の声を生かした納得と合意を。オープンハウスで示された内容との受け止め

**問** 外環道工事の地盤改良のための工事に対する住民への対応について①陥没事故から2年以上経過。地盤補修工事は住民のためであり、住民の声を生かした納得と合意を。オープンハウスで示された内容との受け止め

**外交部長** ①4年9月のオープンハウスで検討状況を説明、いただいた意見を参考に資機材搬入路を選定するなど市民意見反映の取組を実施②地盤補修の必要性は認識。事業者に、地域住民の声を真摯に受け止め誠実な対応を図るよう要請。事業者は新たな説明の場を設ける等理解促進に向けた取組を強化③緑ヶ丘地域では、工事の再発防止対策の取りまとめや事業用地を取得中。引き続き適時の情報提供と丁寧な対応を強く求めていく。



### 学校給食無償化の実施を

#### 給食室改修時も給食提供を



武藤 千里 (日本共産党)



**問** 学校給食は楽しく学べる授業時間。学習指導要領での位置づけと市の取組の方向性を伺う。

**教育長** 食育推進を明確に位置づけ。楽しみながら学ぶ取組実践。家庭等と連携深め一層推進。安全・安心の食材と、市内都市農業との連携の充実は。

**教育部長** S&Aと連携し地場産野菜を優先的に使用。学童農園体験指導など食育の取組連携。

**問** アレルギー対策の今後の取組と中学校での取組の方向性は。

**教育部長** 二度と事故を繰り返さないという強い決意で取り組む。中学校では、生徒自身がアレルギー食材の有無を判断する

**問** 学校給食は楽しく学べる授業時間。学習指導要領での位置づけと市の取組の方向性を伺う。

**給食が果たす役割について伺う。**

**教育部長** 健やかな成長に寄与。保護者負担の軽減に努める。

**問** 給食費補助金の継続と増額を。葛飾区に続き、時限的だが青梅市や清瀬市も無償化を表明。調布市も給食無償化の実施を。

**教育部長** 時限的対応含め無償化実現は困難。食材高騰に伴う補助は国交付金等踏まえて検討。

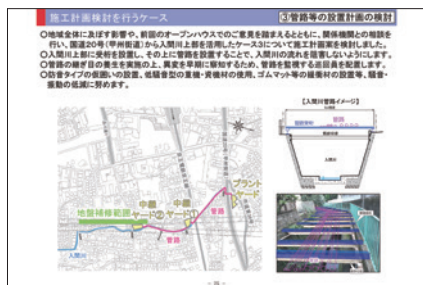
**問** 給食室改修工事による2・3学期の給食停止への対策は。

**教育部長** 希望に応じて弁当の配達を受けられる環境を整えた。

**問** 7か月間の弁当持参の負担

**問** 学童クラブについて①早期の施設整備を②学校施設建て替え時は学校内へ設置を。見解は。

**市長** ①入会保留児童の多い地域等を中心に計画的な整備が必要と認識②単独設置型学童クラブは市公共施設見直し方針で、小学校の増改築時に順次、学校施設への機能移転の検討を位置づけている。国の計画や市方針に基づき計画的に対応し、ソフト・ハード両面で対策を推進。



オープンハウス資料 入間川上部を活用した施工計画案 (出典：NEXCO東日本HP)

### 第17回全国市議会議長会

#### 研究フォーラムに参加

4年10月19日・20日に長野県長野市で、地方分権の時代に即した議会機能の充実と活力に満ちた地域づくりに資することを目的として開催されました。

**研究フォーラムの内容**

- ▽基調講演
  - コロナ後の地域経済
  - ▽パネルディスカッション
    - 地方議会のデジタル化の現状・課題と将来の可能性
  - ▽課題討議
    - 地方議会のデジタル化の取組

報告

**参加者 (7人)**

議長 小林 市之  
副議長 丸田 絵美  
井上 耕志  
木下 安子  
榎原 登志子  
佐藤 亮彦  
内藤 美真子

### 長崎市平和都市交流事業

4年11月8日・9日に平和な世界の実現に向け、平和に関する取組等について意見交換する等長崎市の取組を視察しました。調布市議会は、昭和58年9月27日に世界の恒久平和と非核三原則の完全実施を願い、非核平和都市を宣言しています。

**長崎市平和都市交流の内容**

- ▽平和祈念事業について
- ▽地域振興の取組について

**参加者 (10人)**

議長 小林 市之  
副議長 丸田 絵美  
阿部 草太  
雨宮 幸男  
狩野 明彦  
川畑 英樹  
澤井 英樹  
清水 仁恵  
平野 充  
渡辺 進一郎



イチゴや小松菜など 調布産農産物を使った献立





坂内 淳 (日本共産党)

### グリーンホールと調布駅周辺整備、調布飛行場の自家用機について



**問** グリーンホール整備に当たって、市民参加・市民協働をどう貫いていくのかを問う。

**生文部長** 民間活力を活用した建て替えに向け、事業者の参加意欲を喚起しつつ、利用団体や有識者で編成する検討会、広く市民から意見を伺う場の確保等、具体的な取組につなげていく。

**問** グリーンホール整備、基本構想の議論も始まっている。

**問** 総合福祉センター移転や調布駅前広場整備スケジュールとの関係で、グリーンホールの解体をするべきではない。見解は。

**行経部長** グリーンホールは現敷地での建て替えを検討。新たな施設整備の着手前に解体工事の完了が必要。基本構想策定と並行し解体工事の設計を進める。

**問** 調布飛行場の自家用機の分散移転が進んでいない。現状を公表し都に対して地元で説明し意見を聞く場を持つよう要請を。

**行経部長** 自家用機所有者との協議等の実効性ある取組や地元住民への丁寧な対応を都に要望。

**問** 調布飛行場の自家用機は6割が法人所有。1機当たりの操縦者登録は現在11人で、3年間で約2倍に増えている。都に登録機ごとの操縦者数、法人名と飛行回数、飛行目的の公開、市への情報提供を求めよ。



グリーンホール

**行経部長** 自家用機の運用状況については、内容を詳細に把握する必要があると考えており、引き続き都と連携した適切な対応に努める。

**問** 自家用機の所有・管理・登録者・操縦者の関係について、ルール確立を都に求めるべき。

**行経部長** 分散移転は万全な安全対策や厳格な管理運営と併せ進める必要がある。状況把握に努め実効性ある取組を都に要望。



雨宮 幸男 (日本共産党)

### 補聴器購入費補助などに繰越金の一部活用を



**問** 4年度までの10年の行財政運営の振り返りと評価は。

**市長** 健全な行財政運営の下、現総合計画に位置つけた各施策を着実に推進し成果得たと認識。

**問** 今後10年間の財政需要について目的別予算構成の柱立ては。

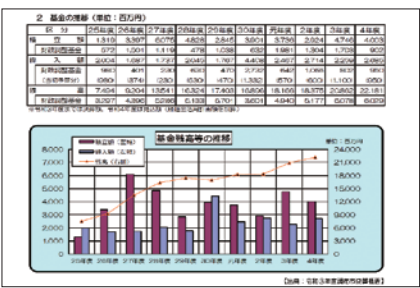
**行経部長** 市民の安全・安心の確保と市民生活支援を基調とした施策に引き続き取り組み基本構想のまちの将来像実現を目指す。

**問** 繰越金を基金だけでなく学校給食費無償化や聴覚障害者手帳を持たない加齢性難聴者への補聴器購入費補助、国民健康保険税値上げ中止といった喫緊の課題に財源充当すべき。見解は。

**行経部長** 給食費無償化は財源確保が必要で実施困難と認識。補聴器購入費補助は福祉施策全体の中で検討。国民健康保険税の税率改定は一般会計からの赤字補填解消に向け適切に推進。

**問** 介護保険制度改定について①保険料や提供されるサービス水準などこれまでの制度改定の経緯は②要支援者の条件、要支援状態とは③要支援1・2の介護保険外し、総合事業化への移行による介護現場への影響は。

**福祉部長** ①制度創設以来6回改正。過大な負担とならない制度設計②6か月継続で日常生活に支障あると見込まれる状態に



基金の推移

(出典: 令和3年度調布市決算概要)

ある65歳以上の者等と定義③利用者への大きな影響ないと認識。

**問** 介護保険制度の今後について、保険料の自己負担率2割への引上げ、要介護1・2の介護保険外し、総合事業化への移行、総合事業化による介護サービスへの影響についての見解は。

**福祉部長** 制度改正の影響について審議会での検討内容を注視。利用者負担が過大とならないよう、必要に応じて国に要望。

### 次期基本構想原案について

#### 全員協議会を開催

4年11月17日に次期基本構想原案について報告を受けるために開催しました。市長からは、現行の基本構想の振り返りや、2030年代の調布のまちを展望し、重要と考える取組が挙げられました。

また、今後において厳しい財政状況が見込まれ、施策や事業の着実な推進と併せて、あらゆる分野で事業の見直し等に取り組む考えが示されました。

議員からは、デジタル化の推進に関する評価・要望があったほか、誰一人取り残されないという理念が構想の全体を通じて貫かれるべきと考えるが市の考えは成り立ちの若い市民団体

等と連携し丁寧な育ていくことを要望/産官連携の中での市や職員の役割、立場を明確にするべき/女性の視点をより市政に生かすため、女性職員の活躍を推進するためのマインドを含む環境づくりに高い意識を持つことを要望/子どもの権利に対する市の認識及び現段階で基本構想に明記していない理由は/現在の総合計画の成果や積み残した課題と次期総合計画に向けた新たな課題は/学校教育の根幹に関わる学校施設整備、教員不足、子どもの貧困など市にしかできないことに対する市の考えなどの質疑、意見がありました。

### 広域交通問題等対策

#### 特別委員会の審査状況

4年11月7日に開催し、東京外かく環状道路に関する現状について、前回開催された本特別委員会以降の経過について都市整備部から報告がありました。

委員からは、市から事業者へ要請後の事業者とのやり取り/今後の調査内容と住民への説明の在り方や、地盤補修の補償対象外で何らかの影響がある住民への補償についての市の考え/ぶんぶん公園の工事使用の周知や代替公園確保などについて質疑があったほか、地盤補修工事の責任の所在の明文化を求める/地盤補修工事に必要な泥土運搬経路周辺の居住者の理解を得るための提案を市としても考えることを求める/住民が安心で

きる説明と手厚い補償を求める/地盤補修工事による武蔵野線層より浅い地盤への影響について、住民が納得する安全・安心のための地盤補修工事を求める/市は事業者と連携し、住民に寄り添った対応を求めるなどの意見がありました。



## 4年度 常任委員会 行政視察報告

### 総務委員会

- 視察日** 4年10月24日～26日
- 視察地及び内容**
- 滋賀県彦根市 彦根市DX推進基本方針について
  - 福井県福井市 福井市DX推進計画について
  - 石川県金沢市 金沢市デジタル戦略及び電子決裁について

### 文教委員会

- 視察日** 4年10月24日～26日
- 視察地及び内容**
- 愛知県名古屋市長 名古屋子ども応援委員会について
  - 大阪府和泉市 池上曾根遺跡及び史跡公園について
  - 大阪府池田市 学生による商店街空き店舗活用事業について

### 厚生委員会

- 視察日** 4年10月25日～27日
- 視察地及び内容**
- 兵庫県尼崎市 ヤングケアラー支援の取組について
  - 愛知県名古屋市長 認知症に関する取組について
  - 愛知県豊田市長 子ども発達センターについて

### 建設委員会

- 視察日** 4年10月11日～13日
- 視察地及び内容**
- 鹿児島県鹿児島市長 新南部清掃工場(ごみ焼却施設・バイオガス施設)整備・運営事業について
  - 熊本県八代市長 地域公共交通施策(乗合タクシー等)について
  - 福岡県大牟田市長 高齢者等の円滑な居住確保促進事業(空き家の有効活用・支援体制)について

**市議会の議会運営について**

市議会では、議会運営委員会において、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、感染状況に応じて、段階的に定例会の運営などの見直しを行っています。4年10月からの主な変更内容は次のとおりです。

〈一般質問について〉

2年第2回定例会から、一人当たりの時間を答弁を含め30分以内としていましたが、40分以内としました。

〈傍聴について〉

議場は定員の半数(25人)としていましたが、定員(50人)までとしました。また、常任委員会などを開催する全員協議会室は一般6人・報道4人、第1委員会室から第3委員会室までは一般3人・報道2人としました。

●「年」及び「年度」については「令和」を表記していません。



# 案件に対する議員の態度

【各会派の名称と人数】

自民…自由民主党(7人) チ…チャレンジ調布21(6人) 公…公明党(5人)  
共…日本共産党(4人) 次…次世代・調布(2人) 自創…自由民主党創政会(1人)  
立…立憲フォーラム(1人) 生…生活者ネットワーク(1人) 維…日本維新の会(1人)

## 第4回定例会

全ての案件は12月20日に議決しました。  
※態度表内の「議」は議長で、採決には加わりません。

議案番号等	件名	結果	自民	自民	自民	自民	自民	自民	チ	チ	チ	チ	チ	公	公	公	公	共	共	共	共	次	次	自創	立	生	維		
			狩野	大野	大須賀	佐藤	鈴木	元木	渡辺	井上	清水	川畑	西谷	丸田	宮本	平野	小林	須山	橋	内藤	岸本	雨宮	坂内	武藤	阿部	古川	伊藤	榎原	木下
〈態度の分かれた市長提出議案〉			○…賛成 ×…反対 -…欠席																										
95	調布市個人情報保護に関する法律施行条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
102	調布市議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
〈議員提出議案〉			○…賛成 ×…反対 -…欠席																										
18	調布市への児童相談所の設置(誘致)を検討するよう求める意見書提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
19	知的障害者・知的障害行政の国の対応拡充を求める意見書提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
20	介護保険制度の改定中止を求める意見書提出について	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
21	子どもの命と成長を守るために保育所の保育士の「配置基準」の改善を求める意見書提出について	否決	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	議	×	×	×	○	○	○	○	×	×	-	○	○	×	
〈委員会提出議案〉			○…賛成 ×…反対 -…欠席																										
2	調布市議会の個人情報の保護に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
〈請願・陳情〉			○…採択 □…趣旨採択 ×…不採択 △…継続審査 -…欠席																										
陳73	野ヶ谷通り深大寺東町6丁目26~27番地付近の通学路の安全性を求める陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
陳74	議員提出議案(意見書)に反対がある場合、反対討論を行うことを求める陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
陳75	十分な審議時間を確保することを求める陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
陳76	議会報告会を市民と議員の双方向の情報交換の場に戻すことを求める陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
〈満場一致で可決した市長提出議案〉																													
88	令和4年度調布市一般会計補正予算(第5号)	96	調布市子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例																										
89	令和4年度調布市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	97	調布市介護保険条例の一部を改正する条例																										
90	令和4年度調布市用地特別会計補正予算(第2号)	98	調布市立自転車等駐車場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例																										
91	令和4年度調布市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	99	市道路線の一部廃止について																										
92	令和4年度調布市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	100	調布市市民プラザあくろすの指定管理者の指定について																										
93	令和4年度調布市下水道事業会計補正予算(第1号)	101	調布市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例																										
94	調布市基本構想	103	調布市八ヶ岳少年自然の家空調設備ほか改修工事請負契約																										
〈市長報告〉																													
報13	専決処分報告について(庁用車の接触により物件に損害を与えた事故について損害賠償額が決定したもの)																												

### 市長提出議案に対する 討論

採決の結果、いずれも賛成多数で可決しました。

**調布市個人情報の保護に関する法律施行条例**

**反対II日本共産党**  
市民の個人情報開示・訂正・利用停止の請求の権利を保障し、基本的な人権の擁護と公正な市政運営を図る現行条例と考えを大きく変えることを説明資料に示し、パブリック・コメントを行うべきだった。個人情報保護審査会の審査を経ず個人情報扱出手続が可能で、自己情報開示までの期間は長く現条例から後退。  
**賛成II次世代・調布**  
個人情報の保護に関する法律の改正に伴い提案されたもの。任意代理人や郵送での請求が可能となり、本人確認に係る時間を要するため開示決定までが30日となる。運用上は14日間での開示に努めると説明あり、理解行政として、デジタル化への対応は必須。全国共通ルールの下、個人情報の適正な取扱いを要望。  
**賛成II生活者ネットワーク**  
現条例を廃止し法施行条例としたことは自治によるまちづくり推進を掲げる市の対応として残念。個人情報保護委員会が国で一本化され市民の個人情報を守られるか不安が残る。個人情報保護審査会に助言を求めることを習慣とし議事録公開を。匿名加工情報規定見送りを評価。個人情報の扱いは透明性の担保を。

**調布市議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例**

**反対II日本共産党**  
本条例は市議会議員の期末手当の支給割合を増やすもの。コロナ禍と物価の持続的高騰で市民生活・営業は困難になっているが、行政の支援策は不十分。国の公的扶助、年金引上げは未実施で、介護・医療などの負担増が予定されている。この状況での市議会議員の期末手当増額は市民の理解を得られない。  
**賛成IIチャレンジ調布21**  
市における市議会議員の期末手当の支給割合は、一般職員と同様に社会情勢等を適切に反映させていくという観点から、引上げについても引下げについてもこれまで、東京都人事委員会の勧告内容を踏まえた支給割合とされてきている。この度の改正も、勧告内容を踏まえたもので妥当と判断。  
**反対II生活者ネットワーク**  
本条例改正は議員の期末手当の支給割合を引き上げるもの。先に審査した若年層職員の給与引上げと正規職員等の勤勉手当等引上げ改正案には異論はない。物価高騰等で格差は拡大し低所得の人ほど厳しい生活を強いられる。市民に寄り添う立場の議員として心情的に賛同しかねる。市民の理解を得られない。  
**反対II日本維新の会**  
コロナ禍において、未だ市民生活や経済活動に大きな影響が生じている。収入が減るなど景気の影響を受けることがない議員が率先して市民に寄り添い、自らの身を切り、痛みを共有することは当然である。厳しい財政状況が叫ばれる中、議員の期末手当を引き上げることは納税者の理解を得られない。

**議場コンサートを開催しました**

令和4年11月30日、第4回定例会の開会前に、6回目となる議場コンサートを開催しました。このコンサートは、「市民に分かりやすく開かれた議会」を目指す取組の一環として、より多くの市民の皆様に市議会へお越しただけなく、きっかけとなるよう、桐朋学園大学の協力により開催しています。



桐朋学園大学の協力による弦楽四重奏

### 編集後記

第4回定例会が終了しました。閉会日は、市立小学校での食物アレルギー事故から10年の節目の日となりました。議場では、一同で黙禱にて児童のご冥福をお祈りいたしました。市議会としても事故を忘れず、再発防止の継続を求めています。(広報委員一同)